

Panasonic

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品番	SJ-MJ15		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	住所		
	様		
販売店	住所・氏名		
	電話 () -		

松下電器産業株式会社
AVC ネットワーク事業グループ

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号 TEL (06) 6909-1021

ご販売店さまへ 印欄は必ず記入してお渡してください。



Panasonic®

ポータブル MD プレーヤー
Portable MD Player

取扱説明書
Operating Instructions

品番 **SJ-MJ15**



このたびは、ポータブル MD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



MDLP



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）定の再生紙を使用しています。

販売店名	i () -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	i () -	品番	SJ-MJ15

松下電器産業株式会社 AVC ネットワーク事業グループ

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. AVC Network Business Group

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571-8505

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2002

RQT6611-S
F0702YH0

付属品の確認

ステレオインサイドホン
(L0BAB0000174)



ジョイント式リモコン
(N2QCBD000020)



ニッケル水素充電式電池
[ケース入り(RFA0475-Q)]



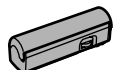
ACアダプター(バッテリー
チャージャー専用)
(N0JABD000002)



バッテリーチャージャースタンド
(色は製品本体の色です。
付属は1種類です。)
(シルバー：RFEB016G-K)
(ブルー：RFEB017G-K)
(ピンク：RFEB018G-K)
(イエロー：RFEB019G-K)



乾電池ケース
(K3ZZ00200038)



キャリングケース
(RFC0069-H)
買い替えは、かつこの品
番でご注文ください。
充電式電池▶8ページ

RQT6611

もくじ

まず 確認と準備

安全上のご注意	3
各部のなまえ	6
ディスクの出し入れ	7
電源の準備	8
充電式電池(付属)で使う	8
乾電池(別売り)で使う	9
ホールド機能	9

再生する

ディスクの再生	10
いろいろな聞きかた	12
好みのグループから聞く	12
繰り返し聞く(リピート)/ 順不同で聞く(ランダム)	12
音質を切り換える	12
登録順に聞く (イントロスキャンメモリー再生)	13

ご参考に

別売り品と組み合わせて使う	14
オーディオシステムで使う	14
外部スピーカーで聞く	14
別売りインサイドホンを使う	14
カーオーディオで聞く	14
MDネットワーク対応機器と 組み合わせて使う	14
主な仕様	15
こんな表示が出たら	16
お手入れ	16
故障かな!?	17
保証とアフターサービス	18
Operating Instructions	20

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

充電式電池は、付属のバッテリーチャージャースタンドを使って充電する



指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない
電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。



付属品の確認 / もくじ / 安全上のご注意

RQT6611

安全上のご注意 必ずお守りください (つづき)

 **警告**

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

抜くときは、ACアダプター本体を持ち、まっすぐ抜いてください。コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

長期使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

分解、改造はしない



機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

点検や修理は、販売店にご相談ください。

乗り物を運転中は、インサイドホンで使用しない



周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。

充電式電池は⊕と⊖をショートさせない



電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は必ず付属の充電式電池ケースに入れてください。

電池には安全のためビニールのチューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

 **注意**

乾電池は正しく取り扱う



⊕と⊖は正しく入れる
長期間使用しないときは、取り出しておく

乾電池は誤った使い方をしない
充電しない



加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない

ネックレスなどの金属物といっしょにしない(乾電池入りの乾電池ケースも同様です。)

被覆のはがれた乾電池は使わない
取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。

万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

付属のACアダプターを使う



指定外のACアダプターを使うと、火災や感電の原因になります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くに置いたりしないでください。

インサイドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

インサイドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

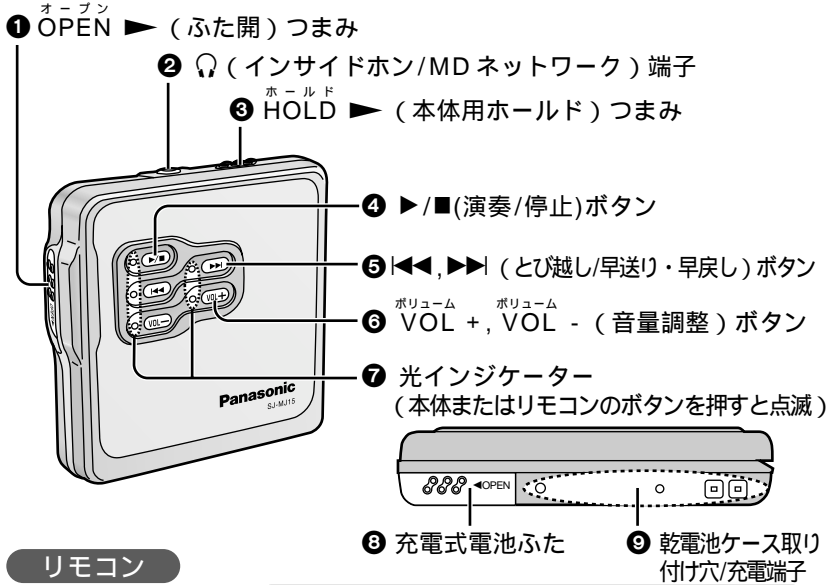


そのまま使用すると炎症やかぶれの原因になることがあります。

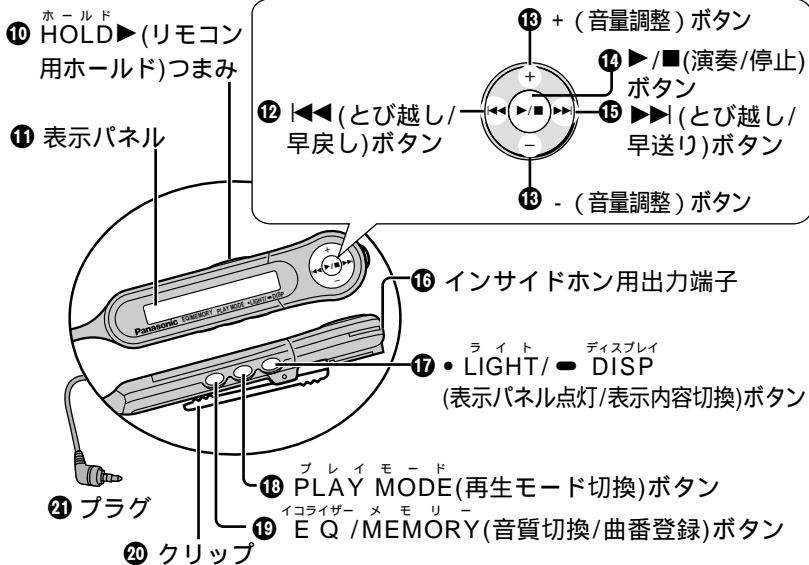
安全上のご注意(つづき)

各部のなまえ

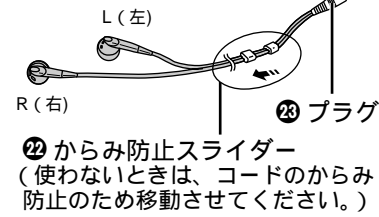
本体



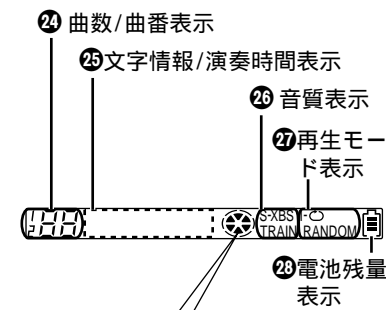
リモコン



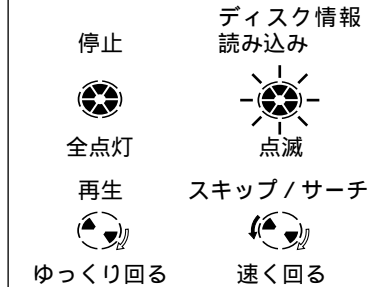
インサイドホン



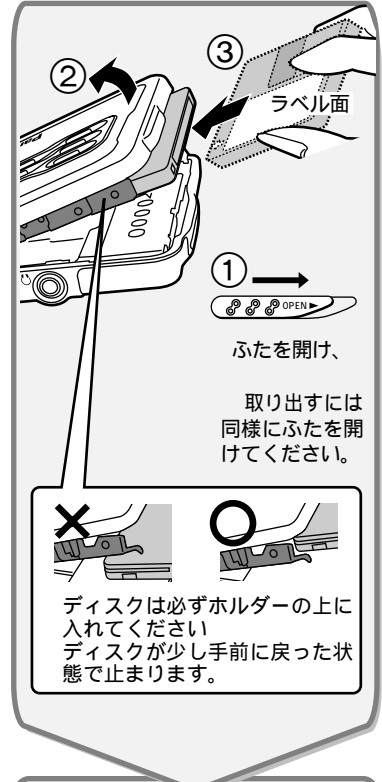
表示パネル



ディスクマーク



ディスクの出し入れ

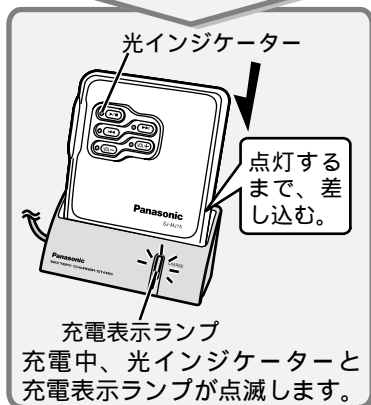
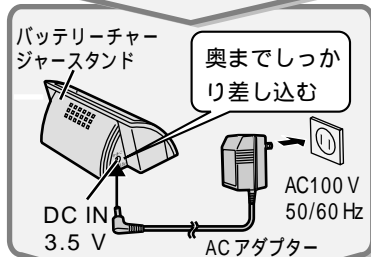
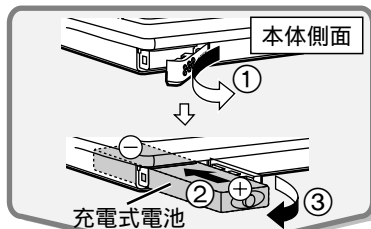


各部のなまえ / ディスクの出し入れ

電源の準備

充電式電池（付属）で使う

購入直後もまず充電



点滅間隔が長くなると（約5秒間）充電完了です。

お知らせ

充電しながら再生できます。
充電中、充電表示ランプのみ点灯。
充電完了時、消灯します。
フル充電するには、電源「切」状態（←11ページ）で充電してください。

充電中、ACアダプターと充電式電池は熱を持ちますが、異常ではありません。

パナソニックの充電式電池は、電池残量を使い切らなくても継ぎ足し充電が可能です。

長期間使用しなかった後は、充電しても通常の持続時間より短くなることがあります。何回か使うと、通常に戻ります。

長時間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。電源が入ってなくても約1.5Wの電力を消費しています。

充電式電池の買い替えはHHF-AZ01S

使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

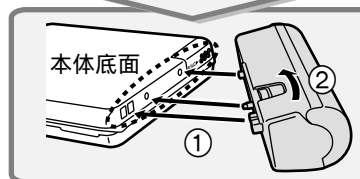
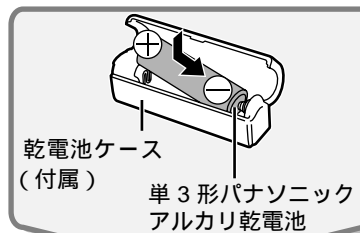
使用済み電池の届け先：

お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ
もしくは、(社)電池工業会へご確認ください。

(ホームページ: <http://www.baj.or.jp>)

ニッケル水素電池使用  Ni-MH

乾電池（別売り）で使う



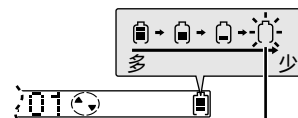
電池の持続時間

「主な仕様」(←15ページ) 充電式電池と乾電池を併用すると長時間使用できます。光インジケータを消灯することにより、電池の消耗を抑えることができます。

光インジケータの「切」「入」準備：本体とリモコン、インサイドホンを接続する(←10ページ)

1. ディスクを入れずにふたを閉める “NoDISC” と表示します。
2. 表示中に、[●LIGHT/●DISP] を約5秒間押す
操作のたびに、「切」(LED OFF) () 「入」(LED ON) 充電中、光インジケータは消灯できません。

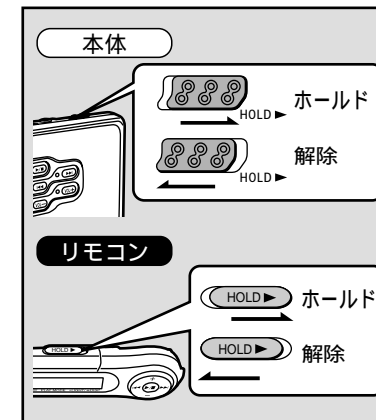
電池残量表示



点滅中、再生を続けていると電源が切れます。

ホールド機能

知らない間に、電源が入ったり、使用中に、再生が中断するなどの誤操作を防ぎます。



本体を HOLD にしても、リモコン操作できます。

リモコンを HOLD にしても、本体の操作はできます。

電源の準備 / ホールド機能

ディスクの再生

MDLP（長時間ステレオ録音；LP2, LP4）やモノラルモードで録音された曲も、自動的に判別して再生できます。

1 プラグタイプ：ステレオミニ(M3)
プラグは奥まで

2 ホールドを解除する

3 ディスクを入れる（←7ページ）
ディスク情報を読み取ります。

4 押す

5 音量を調整する

再生が始まると、[▶/■]の光インジケータが次のように点滅します。
モノラル、通常ステレオ …… オレンジ
LP2 …… 緑
LP4 …… 赤
全曲の再生を終了すると自動的に停止します。

停止状態になり、約10秒後に電源が切れます。

R(右) L(左) ●LIGHT/ ●DISP
長い方を右耳に

停止 → 電源「切」	[▶/■] 約10秒後、自動的に電源が切れます。 次に再生すると、停止したところから始まります。（リジューム機能） ふたの開閉または電池交換をすると1曲目から再生します。
前後にとび越し（スキップ）	[◀◀, ▶▶] 停止状態で押した後、[▶/■]を押すと選んだ曲から再生します。（トラック指定機能）
早送り 早戻し（サーチ）	再生中、押し続ける [◀◀, ▶▶]

リモコン表示パネルの点灯操作時約5秒、スクロール中は、最大約20秒点灯します。

消灯時に点灯させるには [●LIGHT/ ●DISP]を押す

- リモコン操作音の「切」「入」
1. 本体をホールド（←9ページ）にする
 2. 本体の[▶/■]を押しながら、リモコンの[▶/■]を約5秒間押し操作のたびに、
「切」(BeepOFF)

「入」(BeepON)

コントラスト調整

1. 再生中または停止中に、本体をホールドにする
2. 本体の[▶/■]を押しながら、リモコンの[+]（濃い）または[-]（うすい）を押す
CONT15（濃い）～CONT0（うすい）

お知らせ

電池交換すると、音量はVOL12、リモコン操作音は「入」、コントラストはCONT10に戻ります。

表示内容の切り換え
[●LIGHT/ ●DISP]を押し続ける
●：操作するたびに切り換わります。
◁：数秒表示したあと切り換わります。

ディスクモード（←12ページ）

1 Sympho
↓ 曲名
10 MY BE
↓ ディスク名
8 66:20
↓ 総曲数 ↓ 総演奏時間
1 0:01
↓ 曲番 ↓ 演奏経過時間

メモリー再生中（←13ページ）は、「MEMO」と表示します。

グループモード（←12ページ）

1 *Sympho
↓ 曲名
1 G 1 *CL
↓ グループ番号 ↓ グループ名
1 *CLASS
↓ グループ名
8 66:20
↓ グループ内総曲数 ↓ グループ内総演奏時間
1 * 0:01
↓ グループ内曲番 ↓ 演奏経過時間

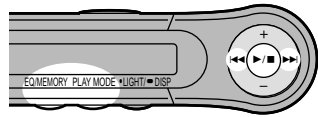
グループモード時は「*」、ディスク名の前には「G」と表示します。名前が記録されていない場合は「-♪♪-」と表示します。

ディスクの再生

RQT6611

RQT6611

いろいろな聞きかた



好みのグループから聞く

グループ設定（連続した複数の曲を1つにまとめたもの）されたディスクは、グループ単位で再生できます。（グループモード 再生）

本機では、グループ設定できません。“INTRO”または“MEMO”と表示しているときは、[PLAY MODE]を押し、解除してください。（☛ 13 ページ）

停止中のみ

“* GRPON”と表示するまで [PLAY MODE]を押し続ける
押すたびに
* GRPON グループモード
↓
GRPOFF ディスクモード

好みのグループが表示するまで [◀◀, ▶▶]を押し続ける
↓
グループ番号 ↓ グループ名
↓
1G 2*JK
↓
1G 2*JH

[▶/■]を押す
選んだグループの最終曲まで再生して停止します。

グループ内で曲をスキップ、サーチできます。
グループ設定されてないディスクは、グループモードにできません。“NO GRP”と表示します。
ふたの開閉または電池交換をするとディスクモードに戻ります。

繰り返し聞く（リピート）/ 順不同で聞く（ランダム）

[PLAY MODE]を押すたびに
1- 1 (1曲繰り返し)
↓
2 (全曲繰り返し)
↓
RANDOM (順不同で聞く)
↓
ディスクモードで 停止中のみ
INTROまたはMEMO
(イントロスキャンメモリー再生)
↓
解除 (表示なし)

グループモードでは、グループ内でリピート、ランダム再生をします。ランダム中は、再生し終わった曲へのスキップ、サーチはできません。ふたの開閉または電池交換をすると通常再生に戻ります。

音質を切り換える

[EQ/MEMORY]を押すたびに
NORMAL (解除) ←
↓
H.SRND (臨場感を強調)
↓
XBS-1 (迫力ある重低音)
↓
XBS-2 (XBS-1を強調)
↓
TRAIN (耳にやさしい音で音もれを防止)

イントロスキャン中、メモリー再生の停止中（☛ 13 ページ）は切り換えできません。
電池交換をするとNORMALに戻ります。

登録順に聞く（イントロスキャンメモリー再生）

準備：ディスクモードにする。（☛ 12 ページ、「好みのグループから聞く」）

好みの曲を登録する(最大16曲まで)

メモリー再生する

停止中のみ

“INTRO”と表示するまで [PLAY MODE]を数回押す
INTRO

[▶/■]を押す
曲頭10秒間を順に再生します。（イントロスキャン）
スキップができます。

登録したい曲番が点滅中に [EQ/MEMORY]を押す

↓
Sympho
↓
曲番
↓
4 MEMO 1
↓
登録番号

最終曲までくると、登録済の曲は、とばして再生します。この手順を繰り返し、登録します。

[▶/■]を押す
登録完了です。
“MEMO”表示中に[▶/■]を押すと登録順に再生します。

停止中のみ

“MEMO”と表示するまで [PLAY MODE]を数回押す

[▶/■]を押す
メモリー再生します。
4 MEMO
↓
曲番

メモリー再生中は、リピート、ランダム再生はできません。

登録を取り消す（全曲取消）
停止中、“MEMO”表示中、“CLEAR”と表示するまで [EQ/MEMORY]を押し続ける

“END”、“FULL”と表示したら
END (ディスク全曲を登録済)
FULL (登録曲数が16曲)
登録は自動的に終了します。

イントロスキャン、またはメモリー再生を解除する
停止中、[PLAY MODE]を押す
“INTRO”または“MEMO”が消えます。
メモリー再生は、再生中でも、解除できます。
解除しても、登録内容は保持されます。

お知らせ

登録は、ふたの開閉または電池交換で解除されます。

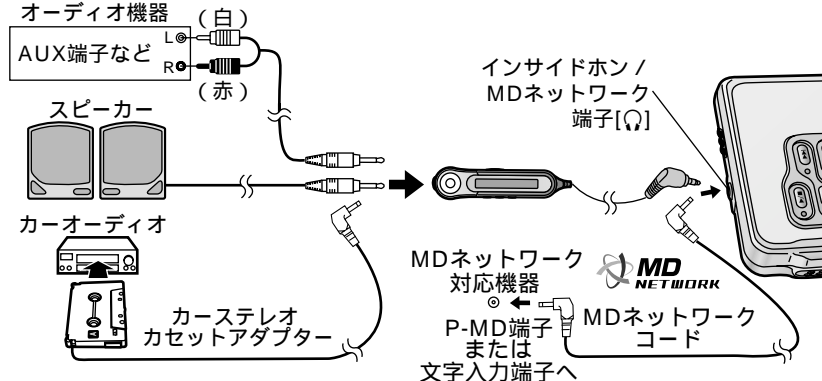
いろいろな聞きかた

別売り品と組み合わせて使う

別売り品の品番は、2002年6月現在のものです。品番は変更されることがあります。必ず、当社指定のものをお使いください。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機の音量レベルは20～23に設定してください。

オーディオ機器



オーディオシステムで使う

接続の前にオーディオシステムと本機の電源を切ってください。

接続コード

システム側がライン入力するとき
(RP-CAPM3G15、1.5 m)

ミニホンジャックのとき
(RP-CAM3G15、1.5 m)

録音の操作時は、リモコンの操作音を消す(☞ 11 ページ) または本体側で操作を行って、操作音が録音されないようにしてください。

外部スピーカーで聞く

アンプ内蔵(音を増幅する)タイプ
RP-SP28/RP-SP30

別売りインサイドホンを使う

インサイドホン : RP-HJ535

RP-HJ337

ヘッドホン : RP-HT870

カーオーディオで聞く

カーステレオカセットアダプター
(SH-CDM10A)

カー電源でお聞きになる場合は、本体から充電式電池を取り出してください。DC IN プラグアダプター(RP-WA10)カー電源アダプター(RP-AK15)を、さらにお求めください。

車種やカーステレオによっては使用できないものもあります。音質(☞ 12 ページ)はNORMALにしてください。

MD ネットワーク対応機器と組み合わせて使う

MD ネットワークコード
(RP-CAM9G15、1.5 m)

◇ 本機の音をミニディスクに録音するMD ネットワーク機能搭載のステレオ機器(SC-PM57MDなど)に接続すると、ミニディスクからミニディスクへのアナログ録音時に、自動的にタイトル文字情報もコピーされます。

◇ ディスクタイトルのラベル印刷をするビジュアル/タイトルプリンター(SH-CP30、コード付属)を使う。

主な仕様

形式 : ミニディスクデジタル

オーディオシステム

読み取り方式 : 半導体レーザー
(= 780 nm) に
よる非接触光学式

サンプリング周波数 : 44.1 kHz

圧縮/伸長方式 : ATRAC/ATRAC3方式

チャンネル数 : 2チャンネル(ステレオ)
1チャンネル(モノラル)

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz
(+ 0 dB ~ - 6 dB)

ワウ・フラッター : 測定限界値以下

出力端子 : ヘッドホン 32

実用最大出力 : 3.0 mW + 3.0 mW

電源

充電式電池 : DC 1.2 V
(付属充電式電池)

乾電池 : DC 1.5 V
(単3形パナソニック
アルカリ乾電池
× 1 個)

寸法(W x H x D)

本体寸法 : 74.1 x 79.8 x 15.4 mm

最大外形寸法 : 76.8 x 80.9 x 17.3 mm
(JEITA)

質量 : 約 99.8 g / 約 72.8 g

(充電式電池含む / 含まず)

充電器 (ACアダプター/
バッテリーチャージャー
ジャースタンド)

入力 : AC 100 V

50/60 Hz 6 VA

出力 : DC 3.5 V 0.5 A

バッテリーチャージャー
スタンドに本体を置いていないときの
消費電力..... 1.5 W

電池持続時間 フル充電時間 : 約 3.5 時間

使用電池	ステレオ (通常再生)	LP2 ステレオ (2倍長時間再生)	LP4 ステレオ (4倍長時間再生)
付属充電式電池(フル充電時)	約 40 時間	約 53 時間	約 70 時間
単3形パナソニックアルカリ乾電池	約 63 時間	約 93 時間	約 121 時間
上記電池併用時	約 103 時間	約 148 時間	約 193 時間

電池持続時間は、水平に置き連続して再生した場合の時間です。使用条件によって短くなる場合があります。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

別売り品と組み合わせて使う/主な仕様

こんな表示が出たら

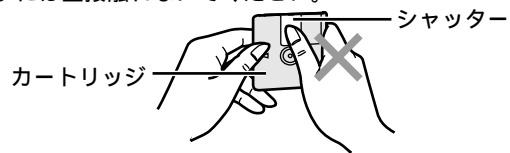
表示	意味
BLANK	ディスクに音楽が記録されていません。
NoDISC	ディスクが入っていません。
HOLD	ホールド状態になっています。(☞ 9 ページ)
T-READ	ディスク情報を読み込み中です。
ERROR	ディスク情報を読み込み中、または再生中に異常が発生しました。 ☞ 電池をいったん取り出し、その後再度電池を入れ直してください。 それでも直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
NO BAT	充電式電池を入れずに、バッテリーチャージャースタンドに本体を置いています。光インジケータのみ点滅します。
NO GRP	グループ設定されてないディスクが入っています。

お手入れ

本体
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布でふき、後は、からぶきしてください。

アルコールやシンナーは使わないでください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

レンズ
MD レンズクリーナー (RP-CL310)のご使用をおすすめします。
ディスク
カートリッジに、ほこりやごみがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
シャッターが開いてしまったときには、すぐに閉めてください。
中のディスクには直接触れないでください。



故障かな! ?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	ここをチェック
操作できない	ホールド状態になっていませんか。(☞ 9 ページ) ディスクが入っていますか。(☞ 7 ページ) 電池が消耗していませんか。(☞ 8、9 ページ) (充電しても演奏時間が極端に短い場合は、充電式電池の寿命です。) 内部のディスクやレンズに露がついていませんか。 ☞ 約 1 時間待ってから使用する。 操作中に動作しなくなるなど異常が起こったときは電池をいったん取り出してください。その後、再度電池を入れ直してください。
再生できない	録音済のディスクが入っていますか。 ☞ BLANK と表示される場合は、何も録音されていません。 録音済のディスクを入れてください。
1 曲目から再生できない	ランダムになっていませんか。(☞ 12 ページ) リジューム機能がはたらいていませんか。(☞ 11 ページ) グループモードになっていませんか。 ☞ ディスクモードに切り換えてください。(☞ 12 ページ)
音が聞こえない 雑音がある	音量が最小になっていませんか。 インサイドホン、リモコンのプラグは奥まで入っていますか。 プラグが汚れていませんか。 本機と携帯電話を近づけて使っていませんか。
[▶/■]の光インジケータが 3 回点滅する	ホールド状態で本体の操作ボタンを押していませんか。(☞ 9 ページ)
イントロスキャンメモリー再生ができない	グループモードになっていませんか。 ☞ ディスクモードに切り換えてください。(☞ 12 ページ)
グループモードにできない	“INTRO” または “MEMO” が表示していませんか。 ☞ イントロスキャン、またはメモリー再生を解除してください。(☞ 13 ページ)

こんな表示が出たら / お手入れ / 故障かな! ?

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は...
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は...
修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

補修用性能部品の保有期間
当社は、ポータブルMDプレーヤーの補修用性能部品の、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
保証書(裏表紙をご覧ください)
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼される時

17ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。保証期間を過ぎているときは修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル/パナソニック
お客様ご相談センター

365日/受付9時~20時

電話 フリーダイヤル ☎ **0120-878-365**

携帯電話・PHSでのご利用は... **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
<外国人/海外仕様商品(ツーリスト商品他)等>
ご相談窓口

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open: 9:00-17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル/パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。

ご連絡いただきたい内容

品名	ポータブルMDプレーヤー	お買い上げ日	年月日
品番	SJ-MJ15	故障の状況	できるだけ具体的に

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区		近畿地区	
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477	滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770
旭川 旭川市2条通2丁目左1号 ☎(0166)31-6151	函館 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631	京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
		大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645
東北地区		中国地区	
青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	山形 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100	米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	岡山 岡山県瀬戸早島町矢尾807-2-33 ☎(086)292-1162
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	福島 福島県安達郡本宮町字南/内65 ☎(0243)34-1301	松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
		出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	山口 山口市鑄錢司字鑄錢司団地北447-23 ☎(083)986-4050
首都圏地区		四国地区	
栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	千葉 千葉市中央区星ヶ丘町172 ☎(043)208-6011	香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知 南国市岡岡町中島331-1 ☎(088)866-3142
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171		
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756	神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720		
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171		
中部地区		九州地区	
石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	名古屋 名古屋市瑞穂区堀込町8-10 ☎(052)819-0225	福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	宮崎 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719	佐賀 佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎(0952)26-9151	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010	長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613	大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380		大島 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101
		沖縄地区	
		沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207	

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

Operating Instructions

Location of Controls

Refer to the illustrations on pages 6 to 7.

■ Main unit

- ① Open switch (OPEN ►)
- ② Earphone/MD Network jack (🔌)
- ③ Hold switch (HOLD ►)
- ④ Play/stop button (▶/■)
- ⑤ Skip/search buttons (◀◀, ▶▶)
- ⑥ Volume control buttons (VOL+, VOL-)
- ⑦ LED indicator

Flashes when a button on the main unit or remote control is pressed

⑧ Rechargeable battery compartment cover

⑨ Connection terminal for battery case

■ Remote control

- ⑩ Hold switch (HOLD ►)
- ⑪ Display
- ⑫ Skip/search(backward) button (◀◀)
- ⑬ Volume control buttons (+, -)
- ⑭ Play/stop button (▶/■)
- ⑮ Skip/search(forward) button (▶▶)
- ⑯ Earphone jack
- ⑰ Light/display button (•LIGHT/ = DISP)
- ⑱ Play mode button (PLAY MODE)
- ⑲ Tone control/memory button (EQ/MEMORY)
- ⑳ Clip
- ㉑ Plug
- ㉒ Stereo earphones
- ㉓ Slider
- ㉔ Plug
- ㉕ Display information
- ㉖ Number of tracks/track number
- ㉗ Text/play time
- ㉘ Tone quality
- ㉙ Play mode
- ㉚ Battery indication

Insert an MD

Refer to the illustration on page 7.

- 1 Slide [OPEN ►] in the direction of the arrow to open the lid.
- 2 Slide the MD between the guides so it clicks into place. The MD springs out again slightly.
- 3 Now close the lid. The MD is retracted into position.

■ Removing the disc

Slide [OPEN ►] in the direction of the arrow and the disc springs out from the unit.

Power source

Refer to the illustrations on pages 8 to 9.

The rechargeable battery (included)

- 1 Insert the battery into the unit.
- 2 Connect the AC adapter to the battery charger stand.
- 3 Put the unit on the stand.

The LED and recharging indicator flash during recharging.

If the interval between flashes becomes long (about 5 seconds), recharging is complete.

■ Recharging and playback times

Recharging time : Approx. 3.5 hours

Play time :

Normal stereo mode: Approx. 40 hours

LP2 stereo mode: Approx. 53 hours

LP4 stereo mode: Approx. 70 hours

When playing MDs recorded with MDLP mode.

Dry cell battery (not included)

Use one LR6 Panasonic alkaline battery.

- 1 Put the battery into the battery case.
- 2 Attach the case to the unit.

- Using both rechargeable and dry batteries together greatly increases battery lasting time.
- By turning off the LED you can reduce the rate at which the battery is depleted.

■ LED On and Off

Preparation: Connect the remote control and the stereo earphone to the main unit. (page 21)

- 1 Close the lid without inserting a disc.
- 2 While "NoDISC" is displayed, Press [•LIGHT/ = DISP] for about 5 seconds. Every time the button is pressed the setting switches between Off (LED OFF) and On (LED ON).

- The LED cannot be turned off when recharging.

■ The battery indicator

If playback is continued when the indicator is flashing, the power will be turned off.

The HOLD Function

Refer to the illustration on page 9.

This function disables buttons so that power cannot be turned on or play interrupted accidentally.

Even if HOLD is activated on the main unit, you still operate the remote control.

Even if HOLD is activated on the remote control, you still operate the main unit.

Playback (Basic play)

Refer to the illustrations on pages 10 to 11. Tracks recorded in MDLP (Extended Play Recording; LP2, LP4) and monaural mode are automatically detected and played back accordingly.

- 1 Connect the remote control and earphones, then insert the remote control's plug into the earphone jack [🔌] on the unit.
- 2 Release HOLD.
- 3 Insert an MD. (page 20)

Reads disc information. The unit waits for 10 seconds and if no button is pressed turns itself off.

- 4 Press [▶/■] to start play.

• Playback begins and the LED flashes in the following colors:

- Monaural, normal stereoorange
- LP2green
- LP4red

• The unit stops automatically when all the tracks on the disc have been played.

- 5 Adjust the volume.

To stop the disc

Press [▶/■].

After about 10 seconds the power goes off automatically.

- If play is pressed, playback resumes from the point where it left off (RESUME function). If the unit is opened or the battery is changed, play starts from the first track.

Skip

Press [◀◀, ▶▶].

- When the unit is stopped, use these buttons to select a track and press [▶/■] to begin play from that track (track selection function).

Search

Press and hold [◀◀, ▶▶] during play.

■ Checking the display

Button press - lights for 5 seconds.

When scrolling - lights for 20 seconds maximum.

- To turn the display on

Press [•LIGHT/ = DISP].

■ Turning the remote control beep On and Off

- 1 Put the main unit in hold. (page 20)
- 2 While pressing [▶/■] on the main unit, press [▶/■] on the remote control for about 5 seconds.

Every time this is carried out the setting switches between Off (BeepOFF) and On (BeepON).

■ Adjusting contrast

- 1 Put the main unit on hold during play or while play is stopped.
- 2 While pressing [▶/■] on the main unit, press [+] (stronger) or [-] (weaker) on the remote control.

CONT 15 (strong) – CONT 0 (weak)

Note

Changing battery causes the following settings to return to the values shown: Volume -VOL 12, Remote Control beep -ON, Contrast -CONT10.

■ Changing Display Contents

Press and hold [•LIGHT/ = DISP].

The display changes each time the button is pressed.

- " * " indicates group mode.

" [] " indicates disc names.

- " - ۰۰۰۰ - " appears when a track, group, or disc has no title.

Other functions

Refer to the illustrations on pages 12 to 13.

Listening to a song group

Groups of tracks can be created on an MD using an MD recorder. A disc set to group in this way allows you to start play from a specified group on the MD. You cannot set a disc to group using this unit.

To cancel "INTRO" or "MEMO" on display, press [PLAY MODE]. (page 22)

- 1 Press and hold [PLAY MODE] while stopped to select " * GRPON " (group mode).

The group mode and disc mode change each time the button is pressed.

* GRPON () GRPOFF (disc mode)

- 2 Press and hold [◀◀, ▶▶] to select the group you want to listen to.
- 3 Press [▶/■] to start play.

Playback starts with the first track in the group and continues through to the last.

- You may search or skip tracks within the group.
- Discs not set to group mode cannot be used in group mode. "NO GRP" is displayed.
- If the lid is opened or the battery is changed the setting returns to disc mode.

Repeat and Random play

Each time [PLAY MODE] is pressed:

1- (Repeat once) ()

(Repeat all tracks)

RANDOM (Listen at random)

Only while the unit is stopped in disc mode

INTRO or MEMO (Introscan Memory) (page 22)

Release (No indicator is shown) -----

- Songs are repeated or played back at random within the group when in group mode.
- It is not possible to skip or search to a track that has already been played during random play.
- If the lid is opened or the battery is changed the unit returns to normal playback mode.

Operating Instructions

Sound quality

Each time [EQ/MEMORY] is pressed:
NORMAL (release)

H.SRND (strengthens the live feel
of the music)

XBS-1 (powerful bass sound)

XBS-2 (more powerful version of XBS-1)

TRAIN (a sound softer on the ear which
also minimizes over spill sound)

- Sound quality cannot be changed during Introscon or when Memory Playback is stopped (below).
- Setting returns to NORMAL when the battery is changed.

Listening in registered order

(Introscon Memory)

Preparation : Put in disc mode. (page 21
[Listening to a song group])

■ Register the songs of your choice (maximum of 16)

1 Press [PLAY MODE] a few times until
"INTRO" is displayed while play is stopped.

2 Press [▶/■].

• The beginning of each track (10 seconds) is played in order (Introscon). Tracks may be skipped if you wish.

3 Press [EQ/MEMORY] while the number of
the track you wish to register is flashing.

• When the last track is reached, the display returns to the beginning and tracks are introsconed again, omitting already registered tracks.

• Repeat this procedure to continue registering.

4 Press [▶/■].

Registration is completed.

Press [▶/■] while "MEMO" is on display to
playback in order of registration.

■ Memory Playback

1 Press [PLAY MODE] a few times until
"MEMO" is displayed while play is stopped.

2 Press [▶/■].

The registered tracks are played back.

• Repeat and random playback is not possible during Memory Playback.

■ Erasing registered contents

Press and hold [EQ/MEMORY] while play is stopped and "MEMO" is displayed until
"CLEAR" appears.

■ "END", "FULL" display

If "END" (all tracks on the disc have been registered) or "FULL" [the maximum (16) number of tracks has been registered] are displayed, registration is automatically concluded.

■ Cancelling Introscon and Memory Playback

When play is stopped, press [PLAY MODE].
"INTRO" or "MEMO" disappears.

- Memory Playback can be cancelled even partway through playback.
Registered contents remain unaltered even if Memory Playback is cancelled.

Note

Registered contents are cancelled if the lid is opened or the battery is changed.

Optional accessories

Refer to the illustrations on page 14.

- Be sure to use the recommended accessories.
- Refer also to the operating instructions for the equipment you connect.
- Set the volume level for this unit to 20-23.

■ Using the audio system

Turn off the power of the audio system and this unit before connecting them.

Connection Cable

When Line In is on the system side

(RP-CAPM3G15, 1.5 m)

When using a miniphone jack

(RP-CAM3G15, 1.5 m)

- When recording, it is recommended that you set the remote control beep to off (page 21) or carry out operations using controls on the main unit to avoid the remote control beep from being recorded.

■ Listening using car audio

Car stereo cassette adapter (SH-CDM10A)

Listening using the car power supply

Remove the rechargeable battery from the unit.

DC In plug adapter (RP-WA10)

Car power adapter (RP-AK15)

- Depending on the type of car and car stereo, in some cases use may not be possible.
- Set sound quality to NORMAL (left column).

■ Using with MD Network Compatible Devices

MD Network Cable (RP-CAM9G15, 1.5 m)

◇ Recording sound from this unit onto MD

If connected to stereo equipment with MD Network compatibility (SC-PM57MD, etc.), title information is automatically transferred to MD when analog recording.

◇ Printing a disc title label

Use visual/title printer (SH-CP30, including cable).

< 無料修理規定 >

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご添付がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。
保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
This warranty is valid only in Japan.